

## FR 社と SACOM/HRN の面談について

2015 年 1 月 20 日

国際人権 NGO ヒューマンライツ・ナウ

2015 年 1 月 11 日に香港の NGO・SACOM が公表した、ユニクロ中国下請け工場における調査報告書に記載した事実関係および勧告に関連して、1 月 19 日、ヒューマンライツ・ナウ(以下 HRN)および SACOM は、(株)ファーストリテイリング(以下 FR)と対話の機会を持ちました。HRN としては社会的に関心と呼び、かつ中国の労働者の権利に関わるこの問題に関し、協議の内容をできる限り透明性の高いものとし公開したいと考え、話し合いの概要を以下の通り、ウェブサイト公開することにいたしました。なお、下記は HRN のメモであり、FR と合意した議事録ではないことをお断りいたします。

- ・ 2015 年 1 月 19 日夕刻開催
- ・ 冒頭、FR 側からプレスリリースを出した通り、御意見をいただきながら、改善を進めていきたい、との話があった。

- ・ SACOM 調査に対して、改善策を発表してくれ、会談の機会をもってくれたことを感謝する。改善に向けて建設的な対話を進めていきたい。

- ・ HRN 今後の取り組みとしては、
  - 1) 事実関係の確定、2) 原因の分析(モニタリング体制の不備)、
  - 3)原因分析を踏まえた改善策や体制の改革、4) そしてその実行

という要素が重要であるが、説明責任を果たし、社会に対して透明性を確保するために、上記プロセスについて公開してほしい。

FR 社として今回 2 社について調査した内容を公表してほしい。そのうえでどう改善するか、という方針を明確にして公表し、改善のプロセスも明確にしてほしい。

(以下、SACOM と HRN の事前協議に基づく質問・要請事項について、主に HRN が進行)

### 1 事実関係の調査と公開について

- 1) HRN FR 社として今回 2 社について調査した内容を公表してほしい。  
「いくつかの点で事実」としているが、具体的でないことから明らかにしてほしい。また、事実関係で食い違いがあるとされている 4 点についても、FR 側の調査結果があれば、明らかにしてくれれば、食い違いを精査することができる。  
➡ FR 現在調査の途中である。もう少し時間がかかる(1 カ月程度)。公開というのが重要ということは了解したが、自社のことではなく、また守秘義務の問題もある。検討したい。
- 2) HRN 今後、2 工場以外の工場についても「同様の事態はないのか」調査をするという提案は重要である。その調査内容と改善プロセスについても詳細に公開してほしい。  
➡ FR 公開については上記 1)と同じ問題があるが、検討する。
- 3) HRN 中国以外の生産拠点についても同様の調査することを要請。

4) FR 事実関係の確定にあたっては、SACOM 側からも情報提供をしてほしい。特に食い違いのある点について。

➡SACOM 検討する。

不一致点については、それぞれさらに調査して事実を確定する。

## 2 モニタリング体制について

1) HRN コードオブコンダクトに基づき、外部の専門機関に委託して、労働環境をモニタリングしていると CSR 報告書に記載されているが、どうして今回のような事態があったのか分析されているか。

FR ➡ 国際的に信用性の高い複数の外部機関に委託しているほか、自社でもモニタリングしてきた。過去に問題が発覚した事例もある。しかし、今回初めてわかった事実もある。この事態を受けて、抜き打ち検査も含め再検討したい。

また、Pacific は素材工場であり、素材工場は化学物質のモニタリングの対象ではあったが、労働環境のモニタリングはしていなかった。今後は素材工場の労働環境についてもモニタリングする方針。逆に知見があれば、どのようなモニタリングが適切か意見をうかがいたい。自社でないため 24 時間張り付くことが出来ず、必ずしも正しい情報ばかりを提供されるわけでもない。

➡SACOM 労働者からの聴き取りが一番である。労働者が自分の意見を言えるようにトレーニングし、組合を組織していく支援が必要である。

➡HRN コンサルティングファームや監査法人に委託するのでは第三者機関とは言えない。SACOM を含む NGO の抜き打ち監査などの体制も組み込むべき。

➡FR そのことは考えている。検討したい。

SACOM 私たちが監査に加わることができる。

2) HRN これまでの調査の指標やメソッドなどがあれば、それに対する改善策を提示しやすくなる。開示してほしい。

➡ FR 調査メソッド公開のデメリットもある。検討したい。

3) HRN 中国におけるすべての生産拠点を公開してほしい。そうすれば、SACOM のマンパワーでは足りないところについて、他の市民組織やメディアなどが自主的にモニタリングすることができるようになり、長い目で改善につながる。

➡ FR 検討する。

## 3 発注価格の見直しについて

Tomwell 「定められた労働時間を遵守できるよう、生産キャパシティ及び生産計画の見直しを行う」とするが、基本給が生活賃金以下であるということが問題の根源にある。残業をすると言われて、生きていけない賃金になるのでは根本的な解決にならない。低賃金で残業せざるを得ず、かつ安全な労働環境が保障されないのは、FR からの発注価格が原因なのか、そうでないのか、分析したうえで、FR からの発注価格の安さが原因であれば、その根本問題に対応してほしい。Pacific についても同様。

➡FR この点は調査中。原因が FR 側にあるのであれば、対応を考える。これについても調査して回答したい。また、私たちはファストファッションではなく、時間をかけて商品開発をして販売していることはご理解いただきたい。

## 4 Pacific

HRN 高温、下水、化学薬品等について、ユニクロとしての調査結果を公表してほしい。

特に、化学物質については健康に関わるので、何を使用しているのか特定し、健康対策や有害化学物質を使わない対策を早急に改善してほしい。

➡FR 進めていく。

SACOM 労働者の死亡について感電死でなく病死ということも納得がいかない。

➡FR SACOM 側の根拠も提供してほしい。

HRN 化学薬品については、「ユニクロ自身が2020年までに有害化学物質を全廃する」との方針でとりくみを進めている関係で、実施体制がどうだったのかが気になる。

➡FR Pacific はモニタリングをしたが、その際にはこうした結果が出なかった。

Pacific 素材・有害物質~ モニタリング~ 写真~ モニタリングをすり抜けていたのか。

## 5 労働組合・トレーニング

(1) SACOM 3月までに労働組合が出来るというのは疑問。労組は長いプロセス。労働者が権利を知り、民主的に代表を決める必要性を知るトレーニングが必要。私たちのネットワークがある団体が労組とマネジメントに対し、トレーニングをする用意がある。団体などを推薦したい。

(2) SACOM Shenzhen のストライキでは、労働者が地元の警察に暴力を振るわれて逮捕される事態に発展している。こうした問題にも取り組んでほしい。

➡FR この件では当社も会社側に対し、強く要請しているところである。

SACOM 解決までのデッドラインを示して解決を図るなどの踏み込んだ対応が必要ではないか。

## 6 契約打ち切りについて

HRN 改善が見られない場合は契約を打ち切るとあるが、それでは失業が出るだけ、または、工場の問題は解決しない。トカゲのしっぽ切りのような安易な対応ではなく、根本的な解決につながるよう、社会的な責任を果たしてほしい。

➡FR そもそも契約打ち切りは望んでいない。ただ極めて深刻な場合は取引中止すべきではないかという欧米の世論等もある。できる限り契約打ち切りというのでなく改善を推進するような役割を果たしていきたい。

## 7 コストについて

HRN 改善にコストがかかると思うが、それでも改善を進めていく姿勢ということでしょうか。

➡FR 社会的な責任を果たすこと、信頼をしていただくことが大切である。

## 8 今後の定期協議について

HRN/SACOM 提案

今後も定期的に協議し、冒頭に申し上げた原則に従って、調査結果や分析、改善、その実行プロセスについて明らかにしていただき、私たちだけでなく広く社会にも公表してほしい。

当面1カ月に1度くらいMTGをし、少し落ち着いた段階では数か月に一度等の対話の機会が望ましい。

➡FR MTGについては了承。

※ 次回は1カ月程度後に調整。SACOM はスカイプ参加。

FR 要望事項について、また調査結果のうち示すことができるものは次回MTGの際に。

本日の会合内容について、HP等で公開することは差し支えない。

以上